



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月8日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 井筒屋

コード番号 8260 URL <http://www.izutsuva.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 影山 英雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理副本部長

(氏名) 光田 昇作

TEL 093-522-3440

四半期報告書提出予定日 平成27年1月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	61,848	△1.5	933	△16.6	579	△38.3	△4,169	—
26年2月期第3四半期	62,821	△0.2	1,119	△34.9	940	△35.2	882	△17.5

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 △4,170百万円 (—%) 26年2月期第3四半期 880百万円 (△17.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	△36.38	—
26年2月期第3四半期	7.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第3四半期	65,898	7,980	12.1	69.64
26年2月期	68,025	12,150	17.9	106.03

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 7,980百万円 26年2月期 12,150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	—	—	0.00	0.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,500	0.3	2,300	4.1	1,800	△9.0	△3,800	—	△33.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	114,804,953 株	26年2月期	114,804,953 株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	215,843 株	26年2月期	213,179 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	114,590,753 株	26年2月期3Q	114,596,443 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

※この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある重要な要因は、当社グループを取り巻く商圏動向、公的規制、自然災害・事故、金利の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年11月30日）におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策等により、株高・円安傾向が進むとともに、雇用環境や企業収益の改善の動きが見られ、景気は緩やかな回復傾向で推移いたしました。一方で、消費税引き上げに伴う消費マインドの低下に加え、円安の進行による原材料価格上昇等の影響により、個人消費は弱含みに推移するなど、先行きは不透明な状況が続いております。

百貨店業界におきましては、円安や免税制度改正による品目拡大効果等を背景に、訪日外国人売上高が大幅に増加するなど、大都市を中心に回復の兆しがみられますものの、地方都市におきましては、気温が高めに推移し、2度に渡り台風が接近するなど天候要因もあり、主力の衣料品が不振であったため、前年実績を確保するにはいたっておりません。

こうした状況の中、当社グループにおきましては、安定的に利益を計上できる収益構造を維持・推進するとともに、効率的な百貨店経営を目指し、昨年度より「井筒屋グループ 中期3ヵ年経営計画（平成25年度～平成27年度）」を策定し、推進いたしております。

また、駐車場運営の持分法適用関連会社である株式会社エビスの全株式を追加取得して、完全子会社化したのち、昨年5月同社を吸収合併いたしました。

本店におきましては、平成10年9月の新館オープン以来16年振りとなる大規模リニューアルを実施し、本館3階、4階および新館2階、3階、4階の婦人服フロアを、10月29日にグランドオープンいたしました。九州初登場となるブランドをはじめ20ブランドを新規導入するなど品揃えの強化と、レストスペースの充実や大型フィッティングルームを導入するなど売場環境の改善をおこなってまいりました。また、本館4階に次世代の新規顧客獲得を目的とした自主編集・自主販売の婦人服ショップ「ラ・シェリー」をオープンいたしました。

黒崎店におきましては、昨年10月に黒崎中心市街地に増加している30代から4代のファミリー層の買い回り向上を目指して、子供服売場を本館7階から本館5階紳士服フロアに移設オープンいたしました。また、11月には、売場面積800坪の大型書店ブックセンタークエストを本館7階にオープンし、店舗の魅力向上と集客力の向上に取り組んでまいりました。

店外ショップにおきましては、昨年10月に北九州市若松区の大型商業施設内に二島ショップをオープンし、地域のお客様の利便性の向上につとめてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は61,848百万円（前年同期比98.5%）、営業利益は933百万円（前年同期比83.4%）、経常利益は579百万円（前年同期比61.7%）となりました。

四半期純利益は、持分法適用関連会社である株式会社エビスの全株式を追加取得して完全子会社化したのち、同社を吸収合併したことにより、特別損失に抱合せ株式消滅差損4,120百万円等を計上した結果、4,169百万円の四半期純損失（前期は882百万円の四半期純利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2,126百万円減少し、65,898百万円となりました。これは主に有形固定資産が6,752百万円増加したものの、長期貸付金が10,428百万円減少したことによるものであります。負債については前連結会計年度末に比べて2,043百万円増加し、57,918百万円となりました。

これは主に支払手形及び買掛金、前受金の増加によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べて4,170百万円減少し、7,980百万円となりました。これは主に四半期純損失によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成27年2月期の業績予想につきましては、概ね計画どおり推移しており、現時点におきましては平成26年4月14日公表の通期業績予想を変更しておりません。

(注) 上記の業績予想は、この資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
特定子会社には該当いたしません。持分法適用関連会社でありました株式会社エビスは平成26年5月29日付で、当社に吸収合併されたことにより消滅しました。
- (2) 四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,784	6,506
受取手形及び売掛金	1,888	3,287
商品	3,671	4,114
貯蔵品	24	20
その他	713	989
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	13,082	14,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,883	17,010
土地	24,083	26,473
その他(純額)	377	613
有形固定資産合計	37,344	44,096
無形固定資産		
301		255
投資その他の資産		
長期貸付金	10,863	434
その他	6,593	6,343
貸倒引当金	△160	△149
投資その他の資産合計	17,296	6,628
固定資産合計	54,942	50,981
資産合計	68,025	65,898

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,296	8,635
短期借入金	11,559	11,559
未払法人税等	82	36
前受金	7,094	7,849
その他の引当金	419	635
その他	4,635	5,541
流動負債合計	31,087	34,259
固定負債		
長期借入金	18,230	17,004
再評価に係る繰延税金負債	3,737	3,737
退職給付引当金	1,224	1,239
商品券回収損失引当金	712	709
その他の引当金	31	0
資産除去債務	440	476
その他	410	491
固定負債合計	24,786	23,659
負債合計	55,874	57,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,532	10,532
資本剰余金	11,904	11,904
利益剰余金	△16,286	△20,455
自己株式	△26	△26
株主資本合計	6,123	1,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	24
土地再評価差額金	6,001	6,001
その他の包括利益累計額合計	6,026	6,025
純資産合計	12,150	7,980
負債純資産合計	68,025	65,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	62,821	61,848
売上原価	47,216	46,599
売上総利益	15,604	15,248
販売費及び一般管理費	14,485	14,315
営業利益	1,119	933
営業外収益		
受取利息	181	62
持分法による投資利益	102	63
協賛金収入	57	219
負ののれん償却額	148	-
未回収商品券受入益	165	153
受取賃貸料	246	133
その他	127	107
営業外収益合計	1,029	740
営業外費用		
支払利息	496	444
売上割引	300	311
商品券回収損失引当金繰入額	127	106
地代家賃	136	52
その他	148	179
営業外費用合計	1,208	1,093
経常利益	940	579
特別利益		
固定資産売却益	8	-
投資有価証券売却益	-	0
特別利益合計	8	0
特別損失		
固定資産除却損	20	360
関係会社株式評価損	-	162
投資有価証券評価損	4	-
移転補償金	-	40
抱合せ株式消滅差損	-	4,120
特別損失合計	24	4,684
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	924	△4,103
法人税、住民税及び事業税	43	67
法人税等調整額	△1	△1
法人税等合計	41	65
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	882	△4,169
四半期純利益又は四半期純損失(△)	882	△4,169

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	882	△4,169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△0
その他の包括利益合計	△2	△0
四半期包括利益	880	△4,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	880	△4,170
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。